

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	学遊館ジュニア		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月17日		~ 令和 7年 3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和 7年 3月 1日		~ 令和 7年 3月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スタッフ一人一人が優しく、良いことは褒め、良くないところや改善が必要なところは指導もしっかり行っています。	・自己肯定感や自尊心を育むために、良いことをやった時や、頑張ろうとした経過も褒めるようにしています。	・不登校児に対する取り組みとしてフリースクール認定を目指します。
2	・様々な体験を通して、やったことがあるできるを増やし、将来の就労に向けての基礎を作ることを念頭に、プログラムを顧慮しています。	・自己肯定感や自尊心を育みながら、苦手なことが少なくなるように支援しています。	・今までやったことがないことをリクエストも取りながら、プログラムとして提供していきます。
3	・将来のために自分でスケジューリング、優先順位を決めて行動することが出来るようにしている。	・自分で決め、その時間になったら自分で時計を見ることが出来るような声掛け行ったり、今やっていることがやめられない場合、スケジュールの修正をすることが出来るように声掛けを行う。	・現在は最低限の学習時間の設定が主になっているので、修正が出来るように声掛けをしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用児自らがその日のスケジュールを、考え決めていくということが苦手な児童(決められたことだけをやりたい)に対する対応が不十分であると思われる。	・自分で考えるだけでなく、選択肢(現在もある)をもっとたくさん増やしていく必要があると考える。	・身体を動かす様々なプログラム(余暇時間)をたくさん準備する必要がある。
2			
3			